

プレスリリース

Sep 24, 2020, 09:16am EDT

FOCUSの臨床検査に、54名の元NFL (米ナショナル・フットボール・リーグ) プレイヤーが参加



ブライアン・ジョーンズ氏(右側)

元 NFL(米ナショナル・フットボール・リーグ)プレイヤー。現在は米国のテレビやラジオのスポーツ解説者であり、FOCUSに深く信頼を寄せマーケティングコンサルタントとして活躍している。

CBSスポーツの大学フットボール解説者であり、自身もプロのフットボール選手として、LAレイダース、インディアナポリス・コルツ、そしてニューオーリンズ・セインツで5年間活動したブライアン・ジョーンズは、肩や背中、膝をはじめとする様々な体の痛みと向き合わなければなりません。

ラインバッカーをしていた彼が言うには、最も辛いのはフットボール選手時代に頭部を繰り返すぶつけた影響で、物事を思い出すのが困難になり、もの忘れ、ろれつが回らなくなった事です。先週のインタビューでジョーンズ氏は、「私が本当に心配になったのは、CBSスポーツネットワークのドラフトの時の事です。」

「舞台までの距離は約3メートルでした。(これは、6〜7年程前の出来事です。)そして、私が選手の名前を発表することになっていたのですが、舞台まで歩く間に頭が真っ白になってしまい、名前が全く思い出せなくなったのです。恐ろしい経験でした。...この体験から、症状を改善できるものはないか必死に探すようになりました。」

その探していたものがFOCUS(フォーカス)という麻のオイルの製品の中にあるのを発見した、とジョーンズ氏は言います。ダラスに拠点を持つウェルネス企業であるプライムマイボディが製造しているものです。ジョーンズ氏は、この製品に深く信頼を寄せ、ついにはマーケティングコンサルタントになりました。

PRIME my BODY.

プレスリリース

医療環境下で実施されたこの製品の臨床検査には、54名の元NFL(米ナショナル・フットボール・リーグ)プレーヤー(許諾書に署名をした人とそうでない人を含む)が参加し、結果として様々な副次的症状の改善がみられ、熱烈な好評価を受けることになりました。プレーヤー達の多くは、ジョーンズ氏と同じように脳の明晰さに関する問題を抱えていたのです。

元ディフェンシブ・バックで、オークランド・レイダース、アリゾナ・カーディナルズ、ダラス・カーボイズ、シカゴ・ベアーズで通算12年間活躍した、ロレンツォ・リンチ氏も同じ症状を抱えていた一人です。

リンチ氏は、インタビューの中でこのように話しています。「あれを飲んだ直後にコンピューター(記憶力の)テストを受けました。すると落ち着いた感覚がやって来たのです。まるで誰かが私の頭を覆っていたボールを取り除いたようでした。明確に見ることが出来、明確に聞くことも出来、自分のしている事に集中することが出来るようになったのです。」

リンチ氏と周りで観察をしていた人からすると、直前と比べて大きな変化と言えます。昨年1月に検査を行ったダラスのホテルの室内で、リンチ氏は閉所恐怖症の感覚を感じていたと言っていました。リンチ氏の不安を落ち着かせるために一緒に試験を受けていた被験者が彼の手を握っていなければならなかったのです。

もちろん、市場(しじょう)のカンナビノイド含有製品の中で頭脳明晰にする効果のある製品はFOCUSだけではありません。(FOCUSの場合には、主要な原材料の一つとして植物性カンナビノイドのカンナビゲロール、CBGが使われています。)

Food and Drug Association(米国の厚生省の一局である食品医薬品局)が、カンナビノイド製品の医学的効能を謳うことを厳しく禁じている状況において、プライムマイボディのメディカルアドバイザー(医療顧問)であるチェン・ルアン医師は、これほど大規模な検査を行った製品は、FOCUSが初めてだろう、と述べています。ルアン医師はヒューストンでTexas Center for Lifestyle Medicine(テキサスライフスタイルメディカルクリニックセンター)を開業しており、自然治癒を重視しています。

ルアン医師は連邦の法規を遵守するとともに、元選手達の検査結果を、査読をとまなう医学専門誌で発表する前に、もっと多くのデータを収集する必要があると述べています。

それでも、二つの検査を実施し、それぞれに見られた共通の結果があります。そのひとつが今年初め、ダラス及びマイアミ・スーパー・ボウルで実施された54名の被験者を対象にしたNFL関連の検査です。また、二年前には戦闘経験のある退役軍人を対象とした研究も行われています。(研究対象の)退役軍人達は全員がPTSD(心的外傷後ストレス障害)の症状を訴えていましたが、食習慣、運動に加えてFOCUSを使用するという、ライフスタイルを変えた後の反応を考察したのです。

ルアン医師によると、元NFL選手達が訴えていた脳ダメージの症状が、退役軍人達の症状とあまりにも似ており、大変驚いたと言います。「今回目にしたことは生涯忘れることがないでしょう。医師としての自分に大きな影響を及ぼすものでした。」と先週の取材で述べていました。

ルアン医師は類似症状をいくつか挙げています。「集中する事、金銭管理が困難、短期記憶力の低下、忘れ物や置き場所の間違い、会話の内容を覚えていない。」など、このような影響を受けているのは元選手達だけではない、とルアン医師は言います。「本人達だけでなく、配偶者や家族にとってもフラストレーションの原因になるのです。」

プレスリリース

さらに、これらのNFL(元)選手達は、極めて男性中心のスポーツ界に身をおいていたことから、自分の症状について話をすることが困難でした。「このことを話題にするのはタブーだ、そんなの男らしくない。」からです。とルアン医師は説明します。「このような会話は、PTSDを抱えた軍関係者が[話していた内容]と全く同じでした。中には脳の外傷を伴う場合もあったのです。この現象は非常に広範囲に広がっています。私自身も、スポーツの競技中に何回も脳震とうを経験したことがあります。彼等(元フットボール選手)も同じことを話していて、全く同じ言い方をしていました。」と。



DR. CHENG RUAN チェン・ルアン医師(左側)
FOCUSを使用し、NFL選手達の脳マッピング検査を行っている。



DR. CHENG RUAN(チェン・ルアン医師)

チーフメディカルアドバイザー、クリーブランドに次ぐ全米で第2位の総合診療所を運営、ロス大学医学部医学士
ニューヨーク市コロニア長老派教会医療センター、年間教師賞としてJoe Dwek受賞
Ultimate Guide For T type Two Diabetes Reversalの著者、テキサスA&M大学文学士号

NFLの検査では、被験者達にブレインマッピングを受けてもらいました。これは、脳波記録や神経科学の他の手法に基づいて脳の立体画像を作成するものです。また、コンピューターを使って記憶と反射の速さを測定し、その後、FOCUSを(舌下に)滴下して摂取します。そして、再度測定と脳マッピングを行います。この検査では、製品中のカンナビノイドとテルペンが被験者の脳の神経可塑性(かそせい)に影響を与え得るかどうかが検証します。神経可塑性とは、脳神経が新しい細胞を再生する能力のことです。

脳マッピング及び元選手達の事例報告は非常にポジティブな結果を示しました。「FOCUSを摂取した直後に、脳の働きがシャープになった側面がいくつもありました。」とルアン医師は言います。「私はこれほど劇的な変化が出るとは予想していませんでした。」視覚的反応は速くなり、脳の処理能力も加速され、情報の処理能力も同じように速くなりました。「このような変化の全ては、実際に『スキャン』結果として目で見る事が出来るのです。」と医師は言います。そして、ポジティブな結果は家族からも上がって来ています。「配偶者が真っ先に彼等の変化を伝えて来ます。」と。

プレスリリース

プライム・マイ・ボディの創業者でありCEOのポール・ロジャース氏も同じ点について述べていました。「選手の一人の奥さんが夫の[検査]に同行して来たのですが、[彼女の夫が製品を使用した]後に、こう言ったのです、『この人こそ私が22歳の時に結婚した男性です。』と。」

ロジャース氏の話では、更に夫人は、「彼は積極的に(物事に)関心を持つようになり、再び幸せそうになり、激しい感情の起伏がなくなり、自分を孤立させることもなくなりました。」と話していましたが、彼女が挙げていた内容は、脳損傷後遺症に苦しむ患者に高い可能性で起こり得る症状でした。患者は、周りの人たちとのコミュニケーションが少なくなり、自分の「頭がおかしい」と感じながら苦痛と戦っているのです。

ルアン医師は更に以下のように述べています。「選手達が私に伝えてくれたもの凄い[改善]体験談で、劇的な衝撃を受けるようなものがいくつもあります。しかし、何が本当に重要かという、我々がこういった家族たちの人生に大きな変化をもたらしているという事実なのです。」



視覚的反応は速くなり、脳の処理能力も加速され、情報の処理能力も同じように速くなった事を チェン・ルアン医師が元NFL(米ナショナル・フットボール・リーグ)プレイヤーにFOCUS摂取後の臨床検査結果を伝えている。